

市子連だより

第16号

大和市子ども会連絡協議会



こんなことに気づきました!

- ◇消火栓がこんなところにあったのね。
- ◇自動販売機が倒れないようにチェーンで繋がれているね。
- ◇この高い塀は地震の時に倒れて来たら危ないし、避難の時に歩けないね。
- ◇工場の作業中は大型車の出入りが多いけど、夜はひと気がなくて危なそう。
- ◇子ども110番の家やコンビニの場所を覚えていると、いざという時に安心ね。

普段は何気なく通り過ぎる場所も、注意深く周囲を見回しながら歩いてみると発見が！一人より複数の目線で、気づいたことを伝え話し合いながら

講師によるマップ作りの視点のヒントを参考に、リーダーや記録メモ係を決め、各グループに割り振られたエリアへといざ出発！



普段は何気なく通り過ぎる回避や『もしもの時の備え』に確實に繋がるので、子ども会や、各家庭でも作つてみてはいかがでしょうか？

子どもたちと一緒に「子どもたち自身の目線と体験」を基に作ると、新鮮な発見にあふれたマップが出来上がる事でしょう。自分たちで作る事によって、危険の

逃さず確認できました。出来上がった地図は、子どもたちの為の「ぼうさい」ヒント満載のものとなりました！

歩いてマップを作ろう！ ぼうさい探検隊



ら歩くことで、危険箇所を見逃さず確認できました。

出来上がった地図は、子どもたちの為の「ぼうさい」ヒント満載のものとなりました！

力跳び戦隊 縄★レンジャー★ランド

9月5日（土）大和市立渋谷小学校体育館にて

『縄★レンジャー★ランド』を開催しました。カツ跳び戦隊縄★レンジャーと一緒に、みんなでジャンプ、親子でジャンプ、ヤマトンもジャンプ！

総勢150名のみんなと爽やかな汗を流しました。全ブロックから集まつた子どもたちは、始めは緊張した面持ちでしたが司会の羽藤さん（劇団の役者さん）の面白いトーク・楽しいゲームであつという間

に時間が過ぎていきました。会場にヤマトンが登場、団の役者さんの面白いつトーク・楽しいゲームであつという間

子どもたちは大興奮。

みんなと一緒に「誕生月集まりゲーム」に参加し、8月生まれの子どもたちは真っ

直ぐヤマトンの元へ。ヤマトンは、大縄跳びにも挑戦。なんと記録更新36回！！

次に縄★レンジャーによる講習会では、難しいダブルダッチが跳べて子どもたちはとても嬉しそうでした。エンディングパフォーマンスでは、縄★レンジャー5人の息の合った華麗な技に、

記録更新中



大和市イベントキャラクター ヤマトン（8月8日生まれ）



子どもたちの輝く瞳にも感動しました。子どもたちの輝く瞳にも感動し、このようなイベントを開催できることに感謝します。



がつた夏の一日でした。



熱心に応援している保護者の方々もたくさんお見えました。



手遊びや簡単にできるゲーム



手作りクリスマスカードを作りました。

ブロック長にインタビュー

中部Iブロック長 江橋久美子

どういうイベントがあり、どういう動きがあるのか、という地域のことながら、よく分かるようになってしまった。毎年、新しい子ども会役員の方々と一緒に活動できるのが楽しみである。以前、本部にいた時にはできない体験だった。色々な人と接することで、良い刺激をもらっている。

スポーツチャンバラ・ドッヂビー・米軍厚木基地交流会、平成14年に、ゆとり教育が導入され学校週休2日制がスタート。それを機に地域の子どもの居場所を作ろうということで、わくわく体験と称して、社会福祉体験・自然体験・スポーツ体験・物作り体験などを始めた。

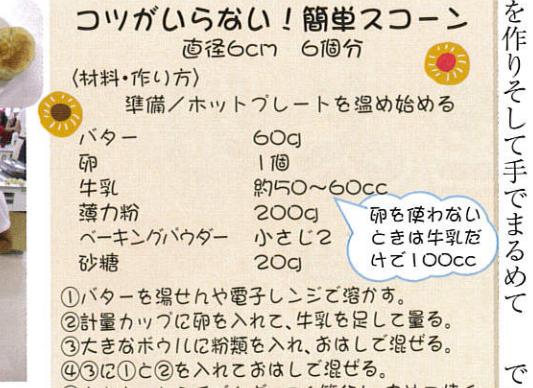
子ども会の役員の方々がとても協力的でエリアの子どもたちが、楽しく行事に参加することが出来ている。

中部IIブロック長 小室 美季

年に一度のクリスマス福祉フェスタではみんなで子どもたちの為に準備をして、当日子どもたちみんなの笑顔を見るととても嬉しくなります! またゲームや工作など、実際に子ども会の行事を取り入れてみた! と聞くとやっていてよかったと思います。

年に数回ブロック会を開催し、各子ども会役員さんに行事などで使えるゲーム・工作などを紹介したりしています。

いつもブロック会をしていても和氣あいあいとした雰囲気でみんな仲が良いです。これからも、子ども同士の横の繋がりを大切にしながら、子どもたちの笑顔のために活動していきたいです。



会場に入ってくる子どもたちの表情は、初めての調理にとまどいを感じているのか、少しおわぱっている様に感じました。

しかし、小麦粉から生地を作りそして手でまるめて盛況でした。

祝日にもかわらずたくさんの方々の申し込みがあり、大盛況でした。

月20日(月)に林間小学校家庭科室にて、スコーン作り教室が行われました。

会場にもかわらずたくさんの方々の申し込みがあり、大盛況でした。

ホットプレートへと親子で工程を進めて行くうちに、緊張もほぐれ子どもたちも笑顔になりました。焼き上がり、ホットプレートのふたを開けた瞬間、とてもいい匂いが部屋の中に広がり、子どもたちから歓声が上がりました。

あつあつのスconeに生クリームやジャムを添えて、みんなで楽しくおしゃべりをしながら食べました。

とても簡単に作れるおい

しいスcone、ぜひご家庭でも作ってみて下さい。



みんなで楽しむブロック会



かかわって良かったことは?

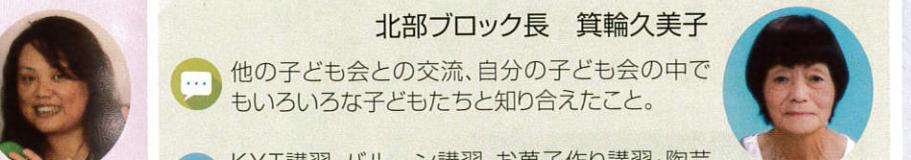
どんな活動をしているの? ブロックの良いところは?

南北ブロック長 小塚 美穂

子どもたちと対等に話が出来たり、子どもの本音が聞けて、それで支えたり助けてあげる事が出来たりと、思いもよらぬところでこんな自分でも役に立てた事?また、色々お母さん仲間と知り合った事。

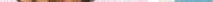
7月に引地川のイベントに参加したり、秋には小学校やゆとり森のふれあい広場参加、クリスマスにはデイケアセンターに手作りプレゼントを持って訪問。

役員さんは例年締じて謙虚で、でも陰でしっかりと協力し支えてくれる。決して前に出るタイプではないみたいだけど責任感の強い方々が集まる傾向。結果、6子ども会というアットホームなブロックになっています。



他の子ども会との交流、自分の子ども会の中でいろいろな子どもたちと知り合えたこと。

KYT講習・バルーン講習・お菓子作り講習・陶芸講習会(昨年まで)本年度は、親子お菓子作り講習・福祉子どもフェスタ・子ども会で活用できるレクリエーション・手遊び等



皆さん協力的でとてもうれしいです、ありがとうございます。小さいお子様を連れての役員は大変とは思いますが、大歓迎です。任期が終わってもブロック役員で残ってほしいと思います。



南北ブロック長 小塚 美穂

子どもたちと対等に話が出来たり、子どもの本音が聞けて、それで支えたり助けてあげる事が出来たりと、思いもよらぬところでこんな自分でも役に立てた事?また、色々お母さん仲間と知り合った事。

7月に引地川のイベントに参加したり、秋には小学校やゆとり森のふれあい広場参加、クリスマスにはデイケアセンターに手作りプレゼントを持って訪問。

役員さんは例年締じて謙虚で、でも陰でしっかりと協力し支えてくれる。決して前に出るタイプではないみたいだけど責任感の強い方々が集まる傾向。結果、6子ども会というアットホームなブロックになっています。

平成28年3月1日



市子連の「プラバンペンドン」作りコーナーは、定番となり、毎年大盛況です。6ヶ所はあるお絵かきスペースは、常に子どもたちで、にぎわっていました。2日間で延べ6000人以上の親子が遊びに来てくれました。

上の方へ

5月9日・10日

大和市民まつり

12月6日 青少年センター

青少年センターまつり

12月13日 大和自動車学校

交通事故撲滅大作戦



同センターを基点に活動している多くの団体が、年に一度のイベントに参加します。



私たちも、お絵かきバルーンやチキンナゲットとポテトのセット販売でお手伝いしています。大人や子どもの自転車教室もあり、親子で交通ルールを話し合う良い機会にもなっています。

市子連も季節がら温かいものを、と思いつつも準備などの関係でフルーツポンチとパンケーキを販売。でも売れ行きは上々!?

駐車場のテントは風が吹き抜けてとても寒かったのですが、がんばって手作りしました。

6月に行つた「防災マップ作り」に引き続き「防災」をテーマに今回は家庭にあるもので簡単にできる防災グッズ作りをしました。お子さんたちと一緒に改めて防災について話し合ってみましょう。

研修 防災グッズ手作りしました

2月26日(金) 勤労福祉会館

市子連も季節がら温かいものを、と思いつつも準備などの関係でフルーツポンチとパンケーキを販売。でも売れ行きは上々!?

駐車場のテントは風が吹き抜けてとても寒かったのですが、がんばって手作りしました。



会場／イトーヨーカドー
大和鶴間店
一階催事場(鶴間駅側)
期間／3月16日(水)～
22日(火)

各ブロックの楽しい活動の様子をご覧ください。

子ども会写真展のお知らせ

市子連

「サーケルありんこ」は、1匹の小さなアリもたくさん集まれば大きな力になり、何でも出来るという意味を込め命名されています。

市子連では、この「サーケルありんこ」の活動を全面的



会員大募集

お問い合わせはこども・青少年課へ

- 発行／大和市子ども会連絡協議会
- 発行責任者／小川 陽子
- 編集／事業部会(広報)
- 事務局／こども・青少年課
(青少年センター内)
- TEL.046-260-5224

サーケルありんこ



にバックアップし、いろいろな場面で子どもたちのお兄さんお姉さんになれるジュニアリーダーを育成しています。

ト作りコーナーは、定番となり、毎年大盛況です。6ヶ所はあるお絵かきスペースは、常に子どもたちで、にぎわっていました。2日間で延べ6000人以上の親子が遊びに来てくれました。

上の方へ